

## スマートシティの実現に向けた技術提案書

様式1

提出年月日： 2020 年 4 月 21 日

提案団体名： 株式会社官民連携事業研究所 (複数団体による提案も可とします)

## ○提案内容

(1) 自社の保有するスマートシティの実現に資する技術と実績等 ※スマートシティの実現に資する技術については、別紙の(1)～(7)の技術分野への対応を記載ください	
技術の概要・実績等	技術の分野
<p>弊社は官民連携事業の立案および実施支援を事業としており、弊社自身は科学技術は保有しておりませんが、これまで下記の施策を考案し、実施に至らせた実績があります。</p> <p>①観光施策への応用のための、シェアサイクルアプリ内のGPSを活用した移動データ収集および分析 実施自治体：有田市、斑鳩町、宿毛市(その他、四国遍路) シェアサイクルアプリで収集可能なデータ：移動ルート、停留時間、利用者の性別、年齢等</p> <p>②測定アプリ搭載のスマートフォンを活用した公共交通機関の効率的運用のための実証実験 実施自治体：柏原市 測定アプリで収集できるデータ：停留所ごとの停車時間、位置情報、走行時の運行速度、乗客数</p> <p>また、現時点では弊社関係案件として施策化には至っておりませんが、下記の技術・知的資源を所有する企業と協力・提携関係にあります。</p> <p>③Wi-Fiを活用したbeacon端末 ④DX推進にかかるコンサルティング</p>	(1)(3)
(2) (1)の技術を用いて解決する都市・地域の課題のイメージ ※課題については、別紙の(ア)～(シ)の課題分野への対応を記載ください	
解決する課題のイメージ	課題の分類
<p>①観光施策への応用のための、シェアサイクルアプリ内のGPSを活用した移動データ収集および分析 シェアサイクルで移動手段を提供するだけでなく、利用者の性質ごとに、どこを目的地とし、どのようなルートで移動し、どのような場所にどれくらいの時間滞在しているのか等を分析します。分析した結果は、新しい観光地の発掘や、どこを重点的にPRするか等、観光施策における活用材料として自治体に提供しています(個人情報特定されないよう十分な配慮をしています)。</p> <p>②測定アプリ搭載のスマートフォンを活用した公共交通機関の効率的運用のための実証実験 地域の無料循環バスについて、停留所ごとの需要や停留所間の移動時間を測定し、そこで得たデータをもとに最適な停留所場所や循環ルート、循環頻度等に活かすことを目的としています。市民の利便性を高める効率的なバス運営を図ります。</p> <p>③Wi-Fiを活用したbeacon端末 新型コロナウイルスを契機にいかに人同士の物理的接触を避けながら移動を図るかがカギとなると考えています。また人の移動という観点で言えば、高齢者の見守りやアフターコロナ後のクーポン配布等、活用可能性があると考えています。</p> <p>④DX推進にかかるコンサルティング コロナ対応で行政そのもののDX化がより喫緊の課題となることを鑑み職員ひとりひとりのリテラシー向上も重要となると考えています。</p>	<p>①： (ア)(オ)</p> <p>②： (ア)</p> <p>③ (シ)</p> <p>④ (ア)～ (オ)</p>
(3) その他	
<p>弊社自身は技術を持ちませんが、弊社と協力関係にあるスマートシティの実現に資する企業がより活躍できるよう、弊社自身も同等の知識とEBPMを意識した企画力を有する必要があると考えています。地方は人口減に比例して財政減、人材減が疲弊していることに加え自然災害やウイルスの脅威など、不確実な将来においても持続可能なまちの創造が待たれています。このような考えから、プラットフォームへの参加を希望いたしました。</p>	

※(1)(2)について、複数ある場合は項目毎に対応の記載をお願いします。

※既に構想中、実施中のプロジェクトがある場合は、別途そのプロジェクト単独での提案も可能です。

## ○部局名・担当者・連絡先(電話及びメール)

部局名	担当者	連絡先(電話)	連絡先(メール)
官民連携事業部	小笠原綾香	080-7587-1019	<a href="mailto:support@p4rl.com">support@p4rl.com</a>